

室 神 山

学校便り
平成28年7月20日号
江津市立江津東小学校長 安食 徹

1学期が終了しました。保護者並びに地域の皆様方そして関係諸機関・団体の皆様方には、本校の教育活動に対しまして、多大なるご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

体力テスト



6月13日（月）に体力テストを実施しました。縦割りの班で実施しましたが、6年生がしっかりと世話をしてくれました。子どもたちは全員、いい記録を出そうと熱心に取り組んでいました。



読み聞かせ

月に1回、ボランティアの方々に来ていただき、全学年で読み聞かせを行っていただいています。6月は16日（木）に実施してもらいました。子どもたちは、真剣にお話に聞き



入っていました。豊かな情操を培うための重要な時期である小学生の時代の本との出会いは大切です。本当にありがとうございました。

救急法講習

6月17日（金）の授業公開日に合わせて、救急法講習が行われました。今年度は、初めに命の大切さ、救急処置の重要さのわかるDVDを視聴し、実技講習も大人と子どもが



同じグループで行うなど、今までの講習とやり方を少し変えて行いました。和気藹々とした雰囲気の中、実技には真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。

給食試食会



6月17日（金）の授業公開日には、低学年の給食試食会も行われました。子どもたちは、保護者の方々を迎えての、いつもと違う給食タイムを楽しく過ごしました。給食もより一層おいしく感じ

たことでしょう。



第1回避難訓練

6月27日（月）に避難訓練を実施しました。今年度一回目で、火災を想定したものです。全校児童が、ほとんど口を開かず、真剣に訓練に参加しました。避難に要した時間は2分36秒でした。過去の経験から1回目の訓練では、ニヤニヤしたり、喋ったりしている子を指導する場面がよくあるように記憶していますが、そのようなことはありませんでした。学校全体で動くとき、その雰囲気を作るのは高学年の姿勢だと思っています。TP〇をわきまえて、その時に適した行動をする力がついてきていると嬉しくなりました。

東っ子を語る会

6月28日（火）に第1回東っ子を語る会がありました。5時間目に授業の様子を見ていただいた後、情報交換などを行いました。様々なご意見をいただき、大変参考になりました。このような会は江津東小学校の特色だと思います。地域の皆様の学校に対する積極的な関心があってこそ続けていられる会だと思います。あと2回実施予定（学期に1回）です。



今後、いただいたご意見を生かし、一層教育活動が充実していきますよう、職員一丸となって、努力していこうと思います。大変ありがとうございました。

石もひと役



6月30日（木）に江津市在住の彫刻家 田中俊晞先生を招き、1・2年生が、『石もひと役』に挑戦しました。子どもたちは目を輝かせながら取り組み、個性的な作品を作り上げていました。



J P X

7月4日（月）に6年生が「起業体験学習」に取り組みました。これはJ P X（株式会社日本取引所グループ）起業体験プログラム推進委員会からアドバイザーにきていただき、指導・支援をしてもらいながら、取り組んでいきます。本物の公認会計士や司法書士らの

サポートのもと、会社経営の全てのプロセスを体験するものです。出資を受けて模擬の株式会社を設立し、実際に現金を使って事業活動を行い、決算書類を作成し、最後に株主総会を開催して会社を解散します。今回はオリエンテーション、ルール説明の後、チームを作り、アイデアを出し合いました。子どもたちは活発に意見交換をしていました。実際に事業を行うことができるということで、子どもたちは非常に意欲的になったようです。今後、事業計画の発表、模擬店出店、株主総会など、様々な内容を通して、体験的に学ん



でいきます。キャリア教育的な面だけでなく、様々な学習要素が含まれていると感じました。子どもたちにとって貴重な学びの場になるものと期待しています。

次回は9月9日(金)の8時35分から3時間かけて、事業計画の発表プレゼンテーションや模擬会社の設立を行います。ご興味のある方は、是非見にいらしてください。その際は、江津東小学校(TEL 55-0003)教頭まで事前にお知らせください。

地区懇談会

7月5日(火)6日(水)に本校校区4地区で地区懇談会が開催されました。「夏休みの暮らし」をもとに気をつけなくてはならないことなどが確認されました。夏休みは、子どもの生活場所が主に家庭や各地域になります。生活リズムが乱れないように見守りとご指導をよろしくお願いいたします。

また、校区には日本海、JR、国道9号線などの危険箇所が多くあります。いずれも事故が起これば命に関わる危険な場所です。学校でも危険への判断力や回避能力を育成するため、避難訓練や学習の中で安全教育を進めていますが、ご家庭でもご指導をよろしくお願いいたします。特に、夏休みの事故は前半に集中する傾向があるようです。生活パターンの変化や夏休みに入った解放感から、つい気が緩んでしまうからかもしれません。充実した夏休み、楽しい思い出いっぱいの夏休みになりますよう、ご家庭、地域の皆様方には子どもの安全につきまして、格別の見守りとご指導をいただきますようよろしくお願いいたします。

赤ちゃん登校日(最終)&講演会

5年生は7月8日(金)に最後の赤ちゃん登校日がありました。3回目の出会いで、関わりが一層深まったように感じます。お別れの時にはたくさん涙が流れました。子どもたちにとって深い、心に残る貴重な経験になったと思います。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



児童の感想

自分が生きていることが、とてもうれしくなってきた。自分もお父さんやお母さんにいっぱいかわいがられて、いっぱいだっこやおんぶをされて大切にされていたんだあと、すごく心がうれしくなってきた。赤ちゃんの顔がものすごくかわいかった。今日で命がなによりも大切なことが分かってよかったです。

また、午後には高塚先生の講演がありました。4年生以上の児童と、保護者・地域の方々と食やコミュニケーションについて、貴重なお話を聞いたり、ゲームを通して交流を深めたりし、意義深い時間を過ごすことができました。

終業式で話したこと

皆さんの成長はなぜ起きたと思いますか？皆さん一人一人のがんばり、お家の人の支えがあったからというのは言うまでもありませんが、様々な出会いがあったからこそ起きたことだと思います。学校での出会いと言えば、先生です。担任の先生を始め、様々な場面でお世話になった先生方が、本気で皆さんに向かっていき、それに本気で皆さんが応えたから成長できたのです。改めて、1学期を振り返り、お世話になった先生方に感謝の思いをもってほしいと思います。また、出会いと言えば友達もそうです。日々の友達との出会いも皆さんを成長させてくれます。友達に対しても、改めて感謝の思いを持ってください。

それから、見守りや読み聞かせボランティアの方々、地域の方々、コミュニティーセンター、江津市教育委員会、給食センターの方々など、みなさんのために一生懸命になってくださる方々があります。1学期が無事に終わったのは、そういう方々のおかげでもあります。改めて感謝の思いをもちましょう。節目節目で感謝の思いを確認することは、これからの皆さんの成長において、大きな力になります。

さて、一つ話をします。命と時間と夢（希望）の話です。これらは実は同じものだと思います。水と氷と水蒸気のようなものです。命がなくなれば、時間も夢もなくなってしまいます。そこでストップです。夏休みは楽しいけれど、危険もいっぱいです。交通事故や水の事故など、十分に気をつけてください。安全については家の人としっかり話し合っ、校外生活の決まりを守り、大事な命を守ってくださいね。

また、時間がなくなるということも、命をなくしています。仮にオギャーと生まれて、すぐに眠りにつき、100歳まで生きて目が覚めて、すぐに死んだ人がいるとします。その人にとって時間はなかったも同じではないかと思います。あっという間に100年が過ぎていったわけです。皆さん、そんなふうに生きたいですか？違うでしょう。100歳まで長生きできるからいいと思いますか？私はいやです。しっかり目を覚まして、自分に与えられた時間を有効に使いたいと思います。時間は刻々と流れていきます。もちろん、ボーッとしたり、休んだりする時間も必要ですが、夏休みの自分に与えられた時間を遊びや勉強、いろいろなチャレンジに使って、成長のために役立ててほしいと思います。

そして、夢（希望）を失うと生きる意味を失います。何のために生きているかわからなくなります。そうすると、やる気が出なくなります。いきいきと生活することができなくなります。寝ているのと変わらなくなってしまいます。ですから、どうか「夏休みの終わりにはこうなりたいな」とか「学年の終わりにはこうなりたいな」とか「将来こうなりたいな」などのたくさんの夢をもって、それを追いかけてください。みんなの夏休みが、素敵な生きた時間の詰まったものになるよう願っています。

では、最後に校長先生から、一つ宿題を出します。それは『親切など、自分が善いと思うことを人に内緒でやる』ということです。これを『陰の行』と言います。神様と自分にしかわからないように善いことをするのです。生活をいきいきとさせる秘訣です。善いことをするポイントをいいます。①真実かどうか、②みんなに公平か、③好意と友情を深めるか、④みんなのためになるかどうか、です。1日に1回でいいですので、誰にも気づかれないように善いことをしてください。気づかれてしまうと褒められてしまったりします。それはそれでうれしいことですが、実は気づかれない方がずっといいのです。本当です。ぜひ夏休みのチャレンジの一つにしてください。